

10. キーワード

(1) 発達障害児	(2) ソーシャルネットワーク	(3) コンピュータリテラシー	(4) 自閉症
(5) 療育支援	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(3) やや遅れている。

(理由)

簡単な療育タスクをおこなう教室を模擬的に開催することとし、そのための再計画、協力者募集、準備等に時間を要したため、初回の試験運用を27年度に行うこととした。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

初回の試験運用を平成27年度7～8月頃を実施し、その後、運用結果に対する評価と外部発表を行う。以降、システムの改良と2度目の試行を行い、プロトタイプとしての公開を予定している。なお、試験運用の結果が良好であれば、継続的な運営を視野に入れた検討も行っていきたい。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

初回運用実験を再計画し、次年度の実施としたため、そのための経費を繰り越した。

(使用計画)

26年度実施予定であった初回運用実験を7～8月に実施するので、繰り越した経費をこの目的に使用する。

13. 研究発表(平成26年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					

(学会発表) 計(0)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名		発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所	

(図書) 計(0)件

著者名		出版社	
書名		発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

--